

芝浦工業大学 交換留学プログラム アンケート

留学者情報

・ 氏名	匿名希望
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	電子情報システム学科 国際プログラム
・ 学年(渡航開始時)	3年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報

・ 渡航型/オンライン型	<input type="checkbox"/> 渡航型 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	マレーシア
・ 都市名	クアラルンプール
・ 留学先大学名	マレーシア日本国際工科大学
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2020年10月中旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2021年2月下旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	MJITは名前の通り日本との交流額深く、サポートもしっかりしており、自分の語学力でも安心して留学できる大学だと感じたから。また、コロナ渦でオンライン留学が可能な大学でもあったため。

留学中の学籍について

・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取っており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	コロナの影響でオンラインで行ったため芝浦の授業も同時に履修することができたから。

留学先での学習・研究状況

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	PROGRAMMING FOR ENGINEER	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	主にC++のプログラミングの勉強。大体はC言語に似ているので、そこまで大変には感じなかった。芝浦工業大学では、JavaとC言語しか授業で扱わないので、別の言語を学びたい人はおすすめかもしれない。週に2回授業があり、2回目の授業の最初に1回目の授業の復習のペーパーテストがある。テストに関しては中間と期末両方あり、Writing test(知識問題)とLab test(実際のプログラムを書く)の2種類を解く		
科目名②	FUNDAMENTAL OF ELECTRICAL CIRCUITS	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	基本的な電気回路の法則と特性、回路解析と定理、DC / ACネットワークについての勉強。毎週宿題がでる。最後の法には、グループワークでMULTISIMというソフトウェアを使った実装実験を行う。グループワークといっても授業中に行うわけではなく、グループ課題が出され、それを協力して解くという形式。		
科目名③	DIGITAL SYSTEM DESIGN	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	ハードウェア記述言語(HDL)、特にVerilogを使用して、組み合わせ回路や順序回路を含むデジタルシステムを構築するための設計方法の勉強。自分としてはかなり難しい授業だった。ハードウェア系の勉強をしたい、職に就きたい人にはお勧めかもしれない。Verilogコードを書く宿題がでる。また、最後には教授からテーマを与えられ、それを完成させるプログラムを書く。また、3回試験がある。		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

オンラインだったため特になし

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

当初は、日常的に英語に触れ英語力の全体的な向上を図りたかったが、予想外の出来事で(コロナ)渡航できなくなってしまった。そのため、思ったほどの英語力上達を感じることはできなかった。しかし、代わりに、オンライン留学のため、芝浦工業大学の授業と並行することで、いろいろなスキルを学べたと思う。もし、何か問題があったとしても、それをプラスに考えて生かすことが大事だと思います。また、当然のことだと思うが、留学に行くより前に英語耳にできる限り近づけるように、早めに英語を毎日聞く習慣をつけておくといいと思う。最後のほうは聞き取れるようになったが、最初のほうは聞くだけで精いっぱい、理解することができないことが多かった。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

留学する際は、しっかりとその大学の履修できる科目を確認することが大事である。また、その大学のメインがソフトウェアかハードウェアなのかなどによって科目が変わると思うのでそこが大事だと思う。また、書類の提出などは早めにしておかないと最悪留学できなくなる場合もあるかもしれないので気を付けたほうがいい。向こう側の返事や手続きなど予定通りにいくことが少ないと感じた。

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。

芝浦工業大学 交換留学プログラム アンケート

留学者情報

- | | |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 氏名 | 匿名希望 |
| 学部 | システム理工学部 |
| 学科(コース等) | 電子情報システム学科 |
| 学年(渡航開始時) | 3年 |
| ウェブ等への体験談掲載への同意 | <input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望 |

留学先情報

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 渡航型/オンライン型 | <input type="checkbox"/> 渡航型 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン型 |
| プログラムタイプ | <input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型 |
| 国・地域名 | マレーシア |
| 都市名 | クアラルンプール |
| 留学先大学名 | マレーシア日本国際工科大学 |
| 留学期間 | <input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度) |
| プログラム期間 | プログラム開始時期(2021年9月上旬等) 2020年10月上旬 プログラム終了時期(2021年9月上旬等) 2021年2月中旬 |
| 留学時期
(主に留学をしていた時期にチェックをお願いします) | <input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期
<input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期
<input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期
<input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期
<input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上
<input checked="" type="checkbox"/> 3年後期
<input type="checkbox"/> 4年前期
<input type="checkbox"/> 4年後期 |
| 上記協定校を志願した理由を教えてください。 | オンライン留学に対応してくれる数少ない学校の1つであり、急速に発展している東南アジアの授業がどのようなものか関心があったから。 |

留学中の学籍について

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 休学の有無 | <input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった |
| 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。
(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取れ、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等) | 国際プログラムに所属しているため |

留学先での学習・研究状況

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	FUNDAMENTAL OF ELECTRICAL CIRCUITS	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	基本的な電気回路の計算。直列、交流どちらも行う。毎週計算の課題が課される。ソフトウェアを用いて回路のシミュレーションを行い、抵抗値などを求める課題も課された。		
科目名②	DIGITAL SYSTEM DESIGN	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	論理回路を扱う。ソフトウェアやwebサービス上でverilogを用いて論理回路の作成、シミュレーションの課題が課された。		
科目名③	COMMUNICATION ELECTRONICS	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	FMやFSKのようなデジタル、アナログ両方の通信手段について教わった。毎週、授業内容を理解しているか簡単な課題が課される。冬期休暇にはレポート課題も課された。		

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

マレーシア日本工科大学(MJUIT)は名前の通り、日本が関わっている学校なので授業によっては日本人の教授が授業を担当していることがある。安心できるが、座学のための授業の場合は日本で英語開講の授業を受けるのと変わらないため、ネイティブな英語ではない。生徒は英語を話す人しかいないので、グループワークがある授業なら英語を鍛えることができる。授業の資料はe-learningにアップロードされるが、忘れていいのか時々ない時があるのでその時は自分から連絡した方が良い。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

授業開始の連絡が来ると思っていたが知らぬ間に授業が開始しており、数回授業に出席できなかった。自分からコンタクトを取らないと大変なことになる。

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。

芝浦工業大学 交換留学プログラム アンケート

留学者情報

・ 氏名	匿名希望
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	電子情報システム学科国際コース
・ 学年(渡航開始時)	3年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報

・ 渡航型/オンライン型	<input type="checkbox"/> 渡航型 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	マレーシア
・ 都市名	クアラルンプール
・ 留学先大学名	マレーシア日本国際工科大学
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) _____ プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) _____
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	興味がある授業があったこと オンライン留学なので時差が少ないこと

留学中の学籍について

・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取れ、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	留学が必須の学科だった

留学先での学習・研究状況

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。
(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Advanced programming	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	pythonの授業 基礎からデータベースなどまで行う。テストはプログラミングを提出するものが多い		
科目名②	Control systems	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	制御基礎と似た授業 YouTubeで予習をしてから授業をして課題を提出する。		
科目名③	Introduction to Bio-engineering	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	課題中心の講義 調べ学習や実験を提出する レポートの書き方や構成を提示されるので書きやすい。提出期限も余裕がある		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

オンラインだったので特になかった

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

フランスへ留学の予定だったが、コロナウイルスの影響で渡航が叶わなかった。マレーシア工科大学では履修登録に苦労したが現地の日本人担当者の方が情報を提供してくれるので安心だった

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

履修登録の書類の準備が大変だった。早めに教員に連絡して準備するとい

質問や書類の申請への返信が来ないことがあるので催促した方がいいです

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。



芝浦工業大学 交換留学プログラム アンケート

留学者情報

・ 氏名	匿名希望
・ 学部	システム理工
・ 学科(コース等)	機械制御システム学科 国際プログラム
・ 学年(渡航開始時)	3
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報

・ 渡航型/オンライン型	<input type="checkbox"/> 渡航型 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	マレーシア
・ 都市名	クアラルンプール
・ 留学先大学名	マレーシア日本国際工科大学
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2020年10月中旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2021年2月下旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	コロナの影響で第一希望のオランダに留学する予定がキャンセルとなってしまいましたが、UTMがオンライン型の留学プログラムを開催していることを知り、母国であるマレーシア工科大学の学生生活に興味もあったので、志願することに致しました。

留学中の学籍について

・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取 り終えており、かつ指導教員の許可 も得られ、就活前に帰国することが できたこと等)	国際プログラムの学生であり、留学が必須でした。必修科目はすでに単位取得済みであったので、オンライン型の授業は余裕を持って単位を取得するためにも、オンデマンドとオンラインの両方の科目の申請を行いました。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

オンライン会議ソフトウェアを使ってオンライン授業を勉強しました。オンデマンドとオンラインの形で授業を進めました。数週間の間に、先生からの毎週の課題を提出したり、テストを受けました。

科目概要

The purpose of this course is to give students a comprehensive introduction to non-destructive test (NDT) technology. The importance of NDT to industry and its application in various fields are discussed. The basic principles and theoretical aspects of the various NDT testing are described in this course. Besides, students are required to interpret and evaluate the test results with respect to the applicable standards.

科目名②

Applied thermodynamics and heat transfer

単位数
(現地単位数)

3

科目概要

This course aims to develop a fundamental understanding of the processes by which heat and energy are inter-related and converted and by which heat is transferred. The course will review major principles of energy conversion and the modes of heat transfer. The basic laws of thermodynamics and the governing equations for heat transfer and thermodynamics will be introduced and subsequently used to solve practical engineering problems involving thermodynamics and heat transfer. The course will also cover fundamental principles of power generation systems

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

オンライン型の留学プログラムそのものが、開講されてから間もないこともあり、UTM側での対応に関しては、不完全である印象を受けました。UTMから留学生に部活等学外活動の情報を、共有して頂けなかったため、私は授業以外の活動に参加することができませんでした。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

マレーシア人は普段WhatsAppというSNSアプリを使っています。先生と連絡する際は、メールよりWhatsAppの方が連絡しやすいです。また、授業はほとんどWebexというオンライン会議アプリで行います。先生は丁寧に授業の内容を教えてくださいましたので、とても理解しやすかったです。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

シラバスと単位認定手続きについては、UTMの方に連絡する必要があるため、なるべく早くから準備を始めることをお勧めします。また、マレーシアの方に連絡する際は、マレーシアではあまりメールをしませんので、数日間に返事がない場合には、追加の連絡が必要です。また、入学手続きを完了したら、学籍番号とメールアドレスを連絡頂くことがあります。学籍番号がないと履修登録と授業は進めることができないので、早めにUTMの担当者と確認した方が良いでしょう。

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。

芝浦工業大学 交換留学プログラム アンケート

留学者情報

氏名	諸岡雅也
学部	システム理工学部
学科(コース等)	生命科学科 生命医工学コース
学年(渡航開始時)	4
ウェブ等への体験談掲載への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報

渡航型/オンライン型	<input type="checkbox"/> 渡航型 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン型
プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
国・地域名	マレーシア
都市名	
留学先大学名	マレーシア工科大学
留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2020年10月上旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2021年3月上旬
留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input checked="" type="checkbox"/> 4年後期
上記協定校を志願した理由を教えてください。	医療工学について学べる学部があったこと、また、アジア圏の大学に留学してみたいと考えていたため。

留学中の学籍について

休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済みであり、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	国際プロジェクトの一環としての留学のため、休学という形ではなく留学することが出来た。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。日本とは違い、授業の内容に加え応用の内容に関しても自主的に学ぶ必要があり大変だった。授業の取り方にもよるが、レポートやテストの数が多く、毎週なにかしらに取り組む必要があった。また、基本的にとどの授業にもグループワークがあり、ほかの生徒と協力し課題に取り組む必要があった。その中で実践的な英語やコミュニケーション能力を高めることが出来たと思う。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

科目名①	Introduction To Biomedical Engineering	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	医療機器や医療機器に関わる分野について受動的、能動的に学ぶことができた。授業で学んだこと以外に自主的に学び、その内容について数度プレゼンテーションをすることがあった。		
科目名②	Circuit Theory	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	アナログ、デジタル回路についての基本的な理論を学ぶことが出来た。練習問題を多く出してくれるため、自習がしやすく、何を勉強するべきなのかが分かりやすかった。		
科目名③	Signals And Systems	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	ラプラス・フーリエ変換をはじめとするシグナル処理に関する知識について学ぶことができた。残念なことにオンラインでの授業であり、現地でもバンデミックが起こったため、録画の動画を見るという形での授業であった。そのため授業回数や時間も短く、基本的に自主的に勉強する必要があった。テスト内容は授業内容からではなく、その応用から出題されるためレベルがとても高く感じた。いい意味で実践的な授業だったと感じた。		
科目名④	English Communication Skills	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	英語のコミュニケーション能力を高めるための授業内容が多くあった。グループワークが多く、他の生徒とコミュニケーション機会が多かった。残念なことに先生がコロナに感染してしまったため、途中からは課題がメインの授業になってしまったが、そこでも協力する必要があったため、総じて英語でのコミュニケーション能力を高めることが出来たと感じた。		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。オンラインだったので交友関係を広げることは難しかったが、グループワークなどを通して何人か友人を作ることができた。現地の学生と友人になることで、多種多様な文化に触れられ新しい価値観に気づくことができるので、来年以降留学する際は積極的に交友関係を広げて欲しい。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。（当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。）オンラインでの留学という今までにない形であったため、これまでの経験を活かすことよりも臨機応変に対応する能力が求められることが多かったように感じた。また、対面の授業と違い、緊張感が薄かったのもあり、モチベーションの維持が難しかったことや、通信の遅延などにより授業内容を聞き逃してしまったりと苦労する面が多かった。日本の授業と比べ実践的な授業が多く、ディスカッションやプレゼンテーションをする機会が多かった。そういった英語を否が応でも使う場面が多く、徐々に英語に対してのストレスが減っていった。留学全体を振り返って見ると、やっている当時はとても辛く、いくつも壁に当たることがあったが、終わってみると大きなものを乗り越えた達成感とそこで得られた経験値を感じ、とても満足している。今後の留学する方へのアドバイスとしては、実践的な授業が多く、英語力を求められるので、最低限度の英語力は留学前に培っておくと良いと思う。

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。